

ご挨拶

あけましておめでとうござ
います。謹んで年頭のご挨拶
を申し上げます。

市民の皆さまにおかれまし
ては、健やかに新年をお迎えの
こととお慶び申し上げます。

さて、熊本地震から3回目
の新年を迎えました。被災さ
れ、今なお不自由な生活を強
いられている皆さまに、謹んで心
からお見舞いを申し上げます。

昨年は、震災からの復旧復興
に全力で取り組み、土砂災害か
ら地域の安心・安全な生活を確
保するための国直轄による砂

防事業の実施が決定されまし
た。これは、平成2年の豪雨災
害、平成24年九州北部豪雨、平
成28年熊本地震と相次ぐ自然

災害を経験した自治体として、
未来を見据えた抜本的な土砂
災害対策が必要であると国等
へ強く要望してまいった成果
であります。今後も引き続き、
より安心・安全な強いまちづく
りを目指し、スピード感を持っ
て復興への歩みを確実に進め
てまいります。

また、市民の皆さまの関心
が高い「国道57号(現道)」及び
「JR豊肥本線」は、いまだ復
旧の目途が立たず、日常生活
をはじめ、あらゆる産業に大
きな影響を及ぼしています
が、昨年10月には、阿蘇市町村
会と阿蘇市町村議長会でJR
九州本社に赴き、JR豊肥本
線の早期復旧に向けた要望を
行い、JR九州からも「豊肥本
線はたいへん重要な路線」と
認識されたうえで「現段階で
開通時期は未定であるが、国・
関係自治体等と連携しなが
ら、1日も早い復旧を目指し
ます。」との回答をいただいで

います。今後も引き続き、国・
県・JR九州等へ早期開通に
向け、全力で粘り強く要望し
てまいります。

一方、阿蘇の文化・歴史の象
徴である阿蘇神社の復旧工事
は、3つの神殿の修復がほぼ完
了し、本年は最も被害の大きい
楼門の復旧が本格化します。

そして、約3年半ぶりに阿
蘇中岳の火口見学が再開、ま
た、阿蘇山上につながる全て
の登山道が復旧し開通しまし
た。現在、阿蘇観光の中心であ
る中岳火口周辺では、草千里
等を含めた阿蘇山上一帯の
観光復興を進めており、ジオ
パーク活動とも連動させなが
ら、「より魅力ある観光地とし
ての阿蘇山上」の実現に取り
組んでいます。

このように、昨年から復旧
復興の槌音が確実に響くよ
うになり、本年は、被災された
方々の生活再建に必要な災害
公営住宅をはじめ、阿蘇西小学
校校舎、波野支所庁舎、仙酔峡
道路などの完成を予定してい
ます。また、子どもたちの熱中
症対策として、市内全小中学校

にエアコンを設置する予定で
あり、本年も復旧から復興・発
展へと更に力強く前へ進めて
いく決意であります。皆さまの
ご理解とご協力を賜りますよ
うお願い申し上げます。

結びに、本年5月には、皇太
子殿下が新天皇にご即位さ
れ、新しい時代を迎えます。こ
れまで市民の皆さまとともに
築いてきた阿蘇市を、新しい
時代につなげ、また、全世代が
笑顔あふれ、希望に満ちた明
るい1年となりますことを心
からご祈念申し上げます。年頭の
挨拶と致します。

阿蘇市長

佐藤 義興

新年の

新年あけましておめでとう
ございます。

平成31年の年頭にあたり、市議会を代表しまして謹んで新年のご挨拶を申し上げます。市民の皆さまにおかれましては、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと、心から喜び申し上げます。日頃は市議会に対して、深いご理解とご支援を賜っておりますこと、厚く御礼申し上げます。さて、「熊本地震」から早や2年9ヶ月が経過し、様々な復旧工事が行われており、なかでも国道57号北側復旧ルート

である「二重峠トンネル」も2020年度中の開通に向けて、現在急ピッチで工事が行われ、早期開通が期待されているところ です。

また、国に要望を行っていただきました土砂災害を防ぐ砂防事業については、昨年3月国直轄による「阿蘇山直轄砂防事業」として新規採択され、今後10年間にわたり総事業費150億円規模として、砂防ダムの整備を柱とした工事が行われることとなり、平成30年度より事業に着手されております。

さらに、阿蘇地域の交通の要でもある、JR豊肥本線の復旧やその動向が見えないことから昨年10月に、阿蘇市町村議長会、阿蘇市町村会においてJR九州本社並びに熊本支社に対し、豊肥本線、肥後大津々阿蘇駅間の早期復旧の要望を行ってまいりました。明確な復旧時期の答えはありませんでしたが「同区間においては、関係機関と調整を図りながら早期復旧を行う」との回答を頂いたところであり、

併せて沿線自治体に対し財政負担を求めないよう強く要望を行ってまいりました。

本市におきましても現役世代の人口減少や高齢化は、避けて通れない深刻な課題であります。この課題解決の鍵となるのは、過去や形式にとらわれない斬新な発想や、それぞれの地域が持つ特徴を活かした持続可能な社会をいかに創生できるかが必要といわれています。未来の子どもたちに誇れるふるさと阿蘇市を創造していくために、市民の皆さまの知恵を活かし施策とし

て反映させていく柔軟な姿勢が、私たち市議会に求められていると思います。

本市ならではの魅力をまちづくりに発揮できるよう、市民目線の意見を出し合い、皆さまの信託に応えるよう努力してまいりますので、今後とも議会へのご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

市民の皆さまにとりまして、新しい年が素晴らしい年となりますよう、ご健勝とご活躍を心からお祈り申し上げます、新年のあいさつと致します。

阿蘇市議会議長

藏原 博敏

2/21 エコツーリズム大賞優秀賞



阿蘇ジオパーク推進協議会が環境省が主催する第13回エコツーリズム大賞優秀賞を受賞しました。

1/25 J R 宮地駅が開業 100 周年



JR 宮地線(現豊肥本線)開通と同時に開業した宮地駅で100周年を祝うセレモニーが開かれました。

2/28

阿蘇中岳火口 3 年半ぶり見学再開



噴火警戒レベルが2に引き上げられた平成26年8月30日から、約3年半ぶりに中岳火口への立ち入り規制が解除されました。規制解除当日は多くの観光客が訪れましたが、濃霧のため終日見学ができませんでした。3月3日には火山活動が活発化し再度自主規制となりましたが、4月24日に火山活動活発化の兆候が見られないとして規制が解除され、火口見学が本格再開しました。

4/26 登山道路 3 路線が全線開通



熊本地震で不通となっていた県道阿蘇公園下野線が復旧し、阿蘇山上へのアクセスが大幅に改善しました。

4/1 阿蘇山直轄砂防事業に着手



※砂防事業のイメージ
写真は県が整備した乙姫川の砂防ダム

国土交通省が阿蘇カルデラ内(阿蘇市・南阿蘇村・高森町)で土砂災害を防ぐ砂防事業に着手しました。

6/25

被災農地が復旧し営農再開



熊本地震で被災した狩尾地区と永水地区の農地が復旧し、3年ぶりに作付けできるようになりました。

6/24

国道 57 号 滝室坂トンネル着工



坂梨と波野をつなぎ国道 57 号・中九州横断道路として活用される滝室坂トンネルの工事が始まりました。

8/6~9

ユネスコ世界ジオパーク再認定審査



平成 26 年に認定された世界ジオパークの再認定審査が行われました。結果は 4 月~5 月頃に公表される予定です。



2019 年のトピックス

ことし予定されている行事をお知らせします。

※日程が確定していないものは日付が入っていません。また、予定は変更となる場合があります。

阿蘇市議会議員一般選挙 1月27日

住民票の写しなど各種証明書の
コンビニ交付開始 2月1日

山田小学校閉校式 2月16日

仙酔峡道路と大正橋(的石)が復旧完了

山田小学校と先行統合する内牧小学校が
新たにスタート 4月1日

小学校運動部活動が社会体育に移行 4月1日

阿蘇西小学校落成 4月

災害公営住宅 新小里団地入居開始

阿蘇医療センター口腔外科開設

波野支所庁舎落成

市役所・内牧支所に設置してある各種証明書
自動交付機の利用終了 9月30日

学校の教室にエアコン設置

9/1

道の駅阿蘇 来館者 1,000 万人突破



平成 20 年に開業した道の駅阿蘇の来館者数が 1,000 万人を突破。1,000 万人目は山口県萩市在住のご家族でした。

10/2

小中学校にタブレット端末導入



市内の全小中学校にタブレット端末を導入し、教室や屋外でインターネットを利用した授業が可能になりました。